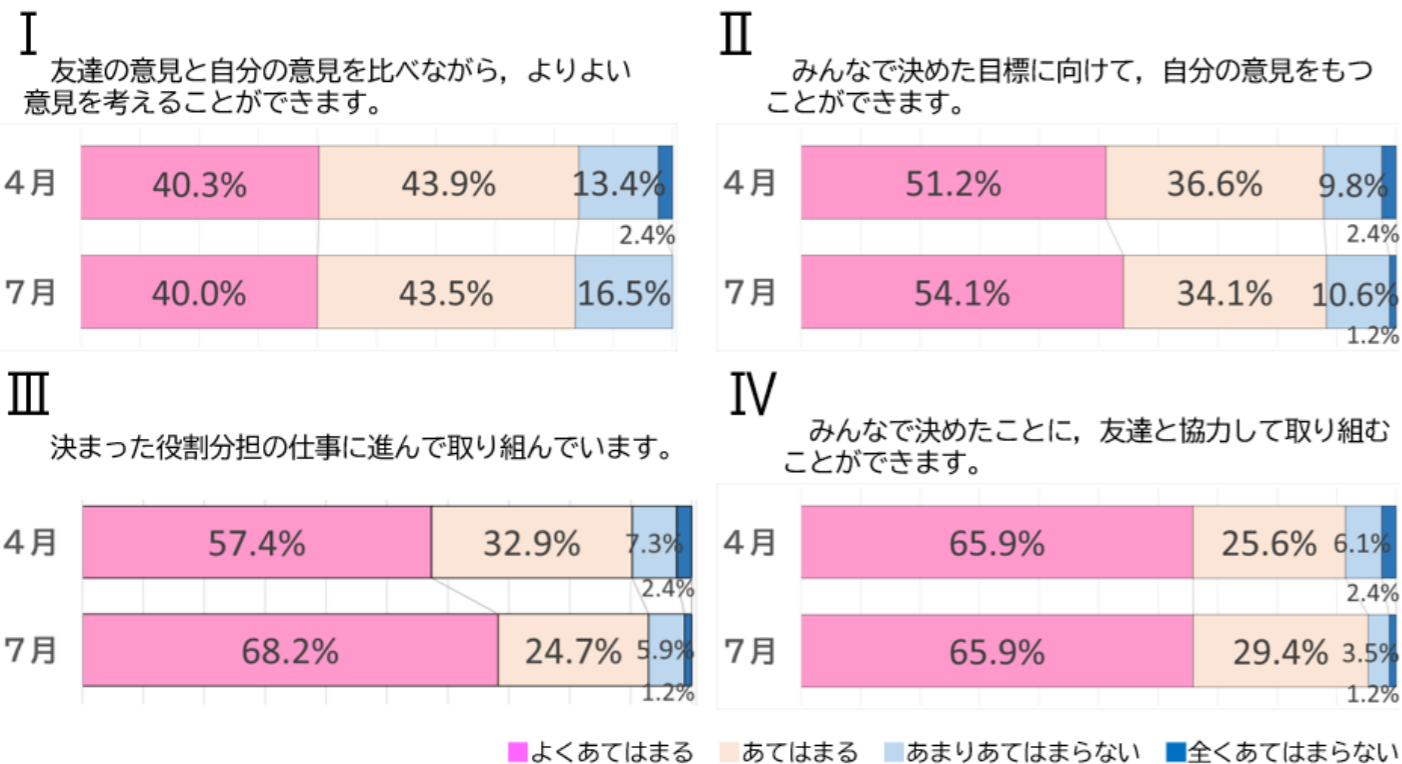


結果



- ① 児童のアンケートの結果は、全項目において肯定的に答えた児童の割合が80%以上であった。肯定的に答えた児童の割合の平均が4月は88%であったが、7月は90%に増加した。
- ② Iの項目において「よくあてはまる」と答えた児童の割合が、他の項目と比べて低い。指導者のアンケートの結果ではさらに、この項目の評価は低かった。

成果及び考察

- ① 学校統合により新しく口和小学校となったことをきっかけに、全校児童を対象に学校全体の目標についてオリエンテーションを行った。新しい口和小学校をつくるために必要な力をみんなで考え目標を共有化したことが主体的に考え行動しようとする意欲に繋がったと考える。
- ② 司会カードや板書用カードなどの学級会グッズを使用させることで、児童は、学級活動における学級会の進行の仕方や流れを理解し、主体的に学級会を進める力を伸ばすことができた。学級会に向けての計画委員会の活動を充実させることで、課題設定や目標を意識した話し合い活動を行うことができた。
- ③ 合意形成に必要なツールを児童に提示し、活用を繰り返す中で、目的に向けてよりよい意見を生み出そうとする意識が向上してきた。出された意見で安易に決定するのではなく、根拠をもとにして意見交流を行ったり、目標や目的に合っているのか立ち返って考えたりすることができるようになってきた。

課題及び今後に向けて

- ① 主体的に考え行動しようとする意識は高まってきており、議題や提案理由を基にして自分の意見やその理由を考えワークシートへ書くことはできているが、それを積極的に発言する児童が固定化する傾向にある。
- ② 合意形成に向けて建設的に話し合いを進める技術が不十分である。国語科等の他教科と関連させ、言語技術の育成もしていく必要がある。また、話し合いの方向がぶれないようにするために、目標や目的に立ち返らせたり、話題を焦点化させたりする、指導者の授業展開の工夫が必要である。
- ③ 評価や振り返り、実践意欲の継続のための取組み等の研修が必要である。

令和3年度 第77回広島県小学校特別活動研究大会(庄原大会)

庄原市立口和小学校



人との関わりの中で主体的に考え行動できる児童の育成

～目標を共有化した学級活動を通して～



仮説
 学級活動において目標の共有化をすれば、人との関わりの中で主体的に考え行動できる児童を育成することができるであろう。

人との関わりの中で主体的に考え行動できる児童の育成 ～目標を共有化した学級活動を通して～

検証方法
 ・児童アンケート ・教師アンケート
 ・児童の姿（教師見取）

主題設定の理由
 本校では、令和元年度から特別活動で「話し合い活動の充実」をテーマに人との関わりの中で主体的に考え行動できる児童を育成する研究を進めてきた。研究2年目である今年度は、特に学級活動において「目標の共有化」をすることで、一連の学習過程においての指針にし、児童自ら課題を発見し、解決に向けて、他者と話し合い、人との関わりの中で主体的に考え行動できる児童の育成を目指す。

第5学年 学級活動(2)イ
 「1年生と楽しい運動会にするために頑張ることを決めよう」
児童(A児)の目標
 自分から1年生に声をかけて遊べるようになる。

A児の振り返り

2週間前	1年生に声がかけれなかった。明日は休憩時間に1年生に声をかけたい。
1週間前	1年生2人と話すことができた。明日は教室に行って声をかけて遊びたい。
当日	1年生と5年生と一緒にたくさん楽しめた。明日からも、1年生と話したり遊んだりしたい。

ワークシートを使って、継続的に振り返りを行い、日々の頑張りに対して肯定的な評価を行った。

目標の振り返り
 活動の中間と事後の振り返り

協働力
 仲間と協働し課題解決に向かう人間性

協働的な活動
 年間計画の工夫

創造力
 新たな価値を見出し創り出す力

第5学年 学級活動(2)イ
 「1年生と楽しい運動会にするために頑張ることを決めよう」

日時	学習活動
6月4日(金) 特活朝会	○プチ運動会について決まっていることを確認し、題材のアンケートを記入する。
6月10日(木) 6校時【本時】	○自己目標を決定する。
6月11日(金) 特活朝会	○学級会カードに記入する。
6月21日(月) 5校時	○学級会
6月22日(火) 特活朝会 ~ 6月28日(月)	○役割分担を確認し、準備を始める。
6月29日(火) 5校時	○プチ運動会を行う。 ○活動を振り返る。

1年生が小学校に慣れてきた時期に、もっと仲良くなることを目的に設定した。

1年生との交流活動を通して、自分たちの課題を見付け、解決のために考え、協力して行動することができた。

第3学年 学級活動(1)ア
 「もっとなかよくなるう会をしよう」

児童から出された意見を表に整理し、3つの視点を基に比べた。

3つの視点は、提案理由を基に計画委員会で設定した。

「私は、キックベースとお絵描きがいいと思います。会話もあるし、みんなで楽しめるからです。」

「キックベースとお絵描きに賛成する人が多いので、まとめ方アイスクリームのダブルアイスを使うといいと思います。」

ダブルアイス
 $A + B \Rightarrow AB$

意思決定・合意形成
 思考ツールと合意形成ツールの活用

着地力
 合意形成する力

課題発見
 課題発見へのきっかけづくり

目標の共有化

学校全体の目標についてオリエンテーション
 「みんなで新しい口和小学校をつくるためには、どんな力が必要かな？」

第3学年 学級活動(1)ア
 「もっとなかよくなるう会をしよう」

提案理由を具体化し共有する
 「もっと仲よく」とはどういうことかを具体化し、共有したことで話し合いの方向が定まった。

みんなでいい学校にしていこう！

第2学年 学級活動(2)エ
 「よりよいしょくじのとり方をしって元気な体をつくろう」

本時までの特活朝会で、「自分が食べたい献立」を考えさせる。食べたいものを写真から選びトレーのシートに給食のように貼らせた。児童は意欲的に考えることができた。

児童が選んだ人気の料理ベスト3と誰も選ばなかった料理を見て、「どうして苦手な料理も給食にあるのか。」を考えさせた。その理由を考えることで課題発見につながった。

◎元気な体をつくるための食事のとり方を考えよう